

平成28年度第5回九州・沖縄ブロック 地域相談支援フォーラムin沖縄

宮崎県

相談支援センターの取り組みについて

- 国立病院機構 都城医療センター
宮崎大学医学部附属病院
宮崎県立宮崎病院
宮崎県立延岡病院
宮崎県立日南病院



宮崎県がん診療連携協議会 相談支援専門部会

3回/年 開催

連絡確認や情報提供が主な内容。その中で、県全体の相談支援センターの課題の策定を行っている

今年度の目標
県全体の課題を明確にしPDCAサイクルを
回せるように取り組む

相談支援専門部会としての活動

ワーキンググループを設置する

拠点病院としての活動

各施設間で行われている研修会の情報共有化を図り、相談員のスキルアップに繋げる

「ワーキンググループの設置」

- 教育・広報グループとし、各グループには各施設1人は主メンバーを置く

- 教育ワーキンググループ（人数8名）

目標：拠点病院のがん相談員の知識の向上

⇒1年間のプログラムを組み、年2回開催

- 広報ワーキンググループ（人数14名）

目標：院外に向けてがん相談支援センターの周知

⇒県内がん相談支援センターに関するリーフレット

作成

DVD作成し、空港、図書館、公共施設での配信を検討

討

教育ワーキング活動

【平成28年度の活動内容】

年2回のがん相談員の研修会開（8月・2月開催予定）

- WGメンバーに研修会希望についてのアンケート調査
- 8/27 がん患者の就労支援について、ハローワーク専門相談員の講義後グループワーク ⇒25名参加
- 8/27 WGメンバーで今後の取り組みについて検討
- 1/14 患者の想いを引き出すコミュニケーション力について、臨床心理士の講義⇒23名参加

【今後の活動予定】

- 研修会開催の費用の捻出
- 研修会の参加者を、呼びかけの範囲の拡大の検討
- 相談員のレベルに応じた研修会の企画

平成29年度の第1回の研修会は各施設1事例提出し事例検討会予

定

【ポスター】

がん相談支援センターのご案内

がん診断されて不安

今後の生活が不安

セカンドオピニオンはどうやって受けたいの？

主治医から説明を受けたが離れてよくわからない

仕事はどうしたらいいのだろう

家族ががんになったら私にできることは？

がん治療のことについて聞きたい

医療費はどのくらいかかるのか

治療による副作用が心配

主治医に上手く思いを伝えられない

こんな時、がん相談支援センターにご相談下さい
※ その他、気がかりなこと等、遠慮なくご相談ください

Q. 利用方法・利用料金は？

A. 主に電話と面談による相談ができます。面談をご希望の場合は、予約制を取っている病院もあります。まずはお問い合わせください。利用料金は無料です。

Q. 相談したことは主治医や家族に報告されるの？

A. 相談者のプライバシーは厳守されます。内容によって、主治医やご家族に伝えたい場合は、相談者の同意を得てからお伝えします。

宮崎県のがん相談支援センター

宮崎大学医学部附属病院 (電話) 0985-85-1909 (対応時間) 月～金 9:00～16:00 [祝祭日を除く]	宮崎県立宮崎病院 (電話) 0985-38-4107 (対応時間) 月～金 9:30～16:15 [祝祭日を除く]
独立行政法人国立病院機構 都城医療センター (電話) 0986-23-4111 (対応時間) 月～金 8:30～17:15 [祝祭日を除く]	宮崎県立日南病院 (電話) 0987-23-3156 (対応時間) 月～金 9:00～15:50 [祝祭日を除く]
宮崎県立延岡病院 (電話) 0982-32-6181 (代碼) (対応時間) 月～金 9:00～16:00 [祝祭日を除く]	

がん検診を受けましょう

早期発見 早期治療

がん検診は、お住まいの市町村や職場、医療機関などで受診できます。積極的にがん検診を受けましょう。

詳しくは [がんネットみやざき](http://www.msuisin.jp/gan-net/)

<http://www.msuisin.jp/gan-net/>

宮崎県がん診療連携協議会 相談支援専門部会・宮崎県福祉保健部 健康増進課

【リーフレット】

こんな時、お気軽にご相談下さい

がん診断されて不安

今後の生活が不安

セカンドオピニオンはどうやって受けたいの？

主治医から説明を受けたが離れてよくわからない

仕事はどうしたらいいのだろう

家族ががんになったら私にできることは？

がん治療のことについて聞きたい

医療費はどのくらいかかるのか

治療による副作用が心配

主治医に上手く思いを伝えられない

★その他、気がかりなこと等、遠慮なくご相談下さい

宮崎県のがん相談支援センター

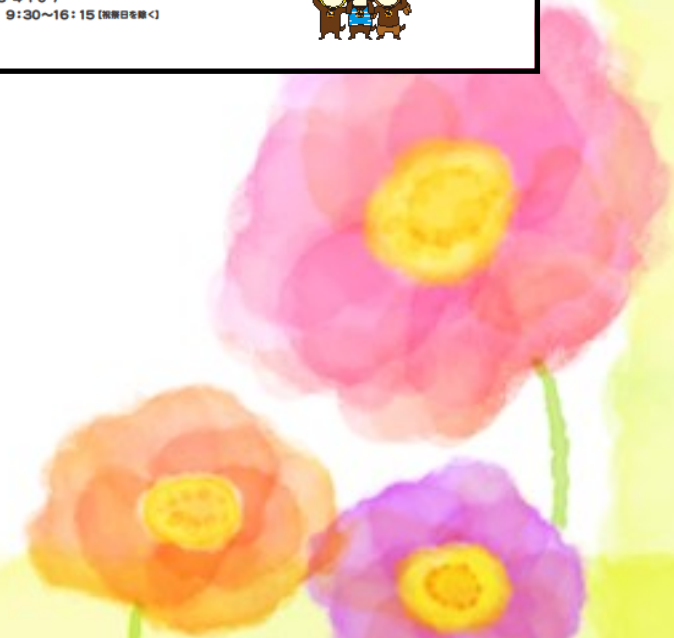
宮崎大学医学部附属病院
(電話) 0985-85-1909
(対応時間) 月～金 9:00～16:00 [祝祭日を除く]

宮崎県立日南病院
(電話) 0987-23-3156
(対応時間) 月～金 9:00～15:50 [祝祭日を除く]

独立行政法人国立病院機構 都城医療センター
(電話) 0986-23-4111
(対応時間) 月～金 8:30～17:15 [祝祭日を除く]

宮崎県立延岡病院
(電話) 0982-32-6181 (代碼)
(対応時間) 月～金 9:00～16:00 [祝祭日を除く]

宮崎県立宮崎病院
(電話) 0985-38-4107
(対応時間) 月～金 9:30～16:15 [祝祭日を除く]



広報ワーキング活動

【平成28年度の活動内容】

宮崎県内にあるがん相談支援センターの周知を目的に活動。

- リーフレット、ポスターを作成
- リレーフォーライフや学会、研修会などイベント開催時にリーフレットを配布

【今後の活動予定】

- 作成したリーフレット、ポスターの活用
⇒各施設や公共職業安定所でリーフレットを配布、
図書館や保健所等の公共機関でポスターを掲示予定
- がん相談支援センター紹介動画の作成、関連施設等へDVD配布
- サポートブックの作成

拠点病院としての活動

「各施設間で行われている研修会の情報共有化、 相談員のスキルアップ」

- ①各施設で開催されているがん診療に関する講演会、
セミナー、研修等の情報収集を行う
- ②宮崎大学医学部附属病院が一覧表に取りまとめる
- ③宮崎大学医学部附属病院から各施設にフィードバック
- ④各施設内でインフォメーション
- ⑤各施設で参加人数等報告
- ⑥①～⑤の流れを3カ月毎に実施

今年度の各病院の取り組み

宮崎大学医学部附属病院

【就労支援】

長期療養者就職支援事業の一環として、今年度より週1回ハローワーク職員（ナビゲーター）が当院で出張相談対応



【ゴールドリボンツリー】

当院小児科が公益財団法人がんの子どもを守る会宮崎支部となっており、2月に病院正面玄関にツリーを設置



【周知活動】

宮崎県福祉保健部がん対策担当者の協力により県政番組でがん相談支援センターについて放映

県立宮崎病院

《院内周知》



待合室の大型モニター画面で、表示をはじめました。

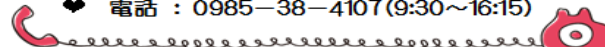
がん患者さんやご家族の治療や療養生活全般に関して心配事、困ったことや不安に思うことなどについて、一緒に考え情報を探お手伝いをします。
がんに関する相談は、どなたでも利用することができます。

どんな相談でも、
受診していなくても、
無料で、
相談出来ます。

がん相談支援センター(がん相談窓口)にご相談ください

♡ 場所：正面玄関をに入って左、10番カウンター奥

♡ 電話：0985-38-4107 (9:30~16:15)



《院内の連携》

婦人科病棟・外来化学療法室と連携し、化学療法を受けられる患者さんで脱毛・ウィッグ・ケア帽子等の相談を希望される場合は、「がん相談支援センター」に案内して頂きます。



《就労支援》

昨年度より、ハローワーク職員が就労支援のため、病院で出張相談が始まりました。来年度からは、当院でも出張相談を開始すべく、調整しています。



リレー・フォーライフ・ジャパン
2016・宮崎 のべおか



← エンプティテーブル
ルミナリエ 真ん中に→
“HOPE”の文字

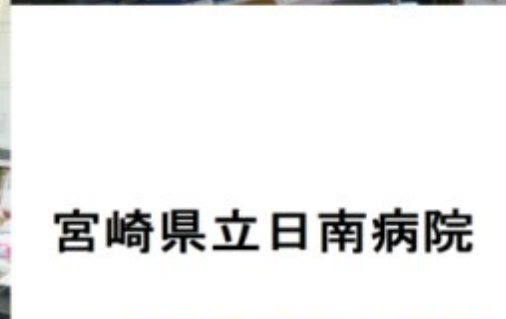
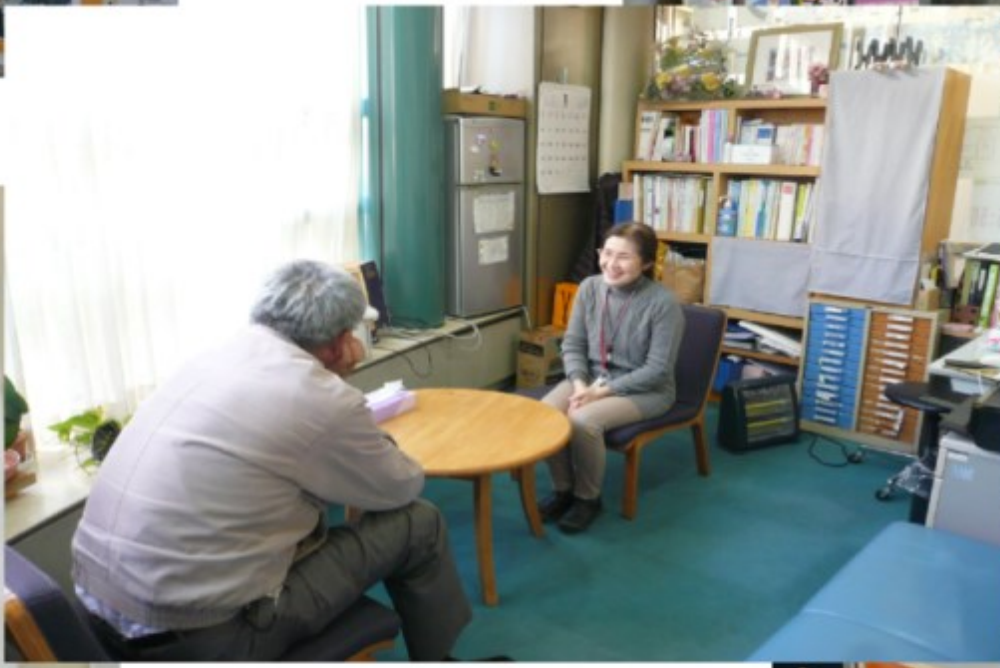


県民健康講座開催予定

- * 場 所 : 県立延岡病院 2階講堂
- * 講 師 : 医療連携科看護師長

* テーマ : がん相談支援センターの役割





がん相談支援センター⇒相談支援センターに変更

都城医療センター



正面玄関 受付・会計です



がん相談支援センター 紹介カード作成



こんな時、
お気軽にご相談下さい。

- ▼がんと診断されて不安だ。
- ▼今後の生活が心配。
- ▼がんの治療のことについて聞きたい。
- ▼医療費はどれくらいかかるのか。
- ▼セカンドオピニオンを受けたいがどうしたらいいのか など...

がん相談支援センターでは
ご質問に関する質問や相談にお応えし、無料で相談できます。
相談された内容はご本人の了解なしに担当医・ほかの方に伝わることはありませんので、どうぞお気軽にご相談ください。



外来フロアに設置
ツリーがピンクリボン
でいっぱいになりました。

ピンクリボン月間



17か所の近隣地域の民生委員定例会、自治会長定例会、ケアマネージャーの定期会議などに出席し広報活動を行った。

今後の取り組みについて

がん相談支援センターを周知するための広報活動

- 図書館での広報が可能なのか、図書館の実情把握がしたいなどがん相談員より要望あり
- ⇒ 行政担当者が窓口となりまずは県立図書館にがん相談支援センターとの連携について調整予定
- 宮崎日日新聞にもがん相談支援センターの広報検討中

就労支援活動拡大中

- 宮崎大学医学部附属病院にハローワーク職員が週1回常駐開始。
平成28年度ハローワークには相談件数30件あり、研修後紹介3件。
顔の見える関係作りにもなり、気軽に相談しやすくなった
- 宮崎県立宮崎病院でもハローワークの相談員を専任で検討中
- 雇用や復職等の対応として事業主に働きかけている宮崎県産業保健総合支援センターとの連携も検討予定

今後の課題



その他

- 相談件数のカウント方法等が施設によって異なる
- 地域連携パスの使用件数が少ない

*いずれも、他県でどう取り組んでいるのか情報があれば

教えてもらいたい



初期のがん告知支援について

宮崎県立宮崎病院

紹介元の病院にて、告知後来院される方がほとんどである。当院で告知する場合には、支援が必要と判断される方には緩和ケアの認定看護師が同席するようにし、それ以外の方は外来看護師が同席する

国立病院機構 都城医療センター

がん相談員が病状説明、告知の場に立ち会うことはまれである。治療困難な状態となった患者の同席依頼はあるが、各科で違う。現状把握の為外来看護師38名にアンケート調査実施。現在集計中

宮崎大学医学部附属病院

外来で病状説明されることが多いため、外来看護師または緩和ケアセンター担当の看護師が同席、支援する。

がん相談員としては、BSCなどの治療方針変更などの説明に同席することが多い

宮崎県立延岡病院

外来看護師ができるかぎり同席しその時に相談支援センターのリーフレットを配布している。相談に来た患者に依頼あれば同席できる

宮崎県立日南病院

外来で行われることが多く、外来ナースが立ち会っている。告知を受けた後で、外来ナースより「がん相談支援センター」の事を説明してもらっている